2022年度入試を制する ―― 中学受験専門家庭教師の効果的な活用法

志望校合格へ至る道、明るく照らします

来年度の入試まで残すところ約100日となりましたが、長引くコロナ禍は今年も受験生に影響を与えています。思うように勉強が進まず、学力の完成度や志望校選択に不安を抱えている家庭も多いです。2022年度入試の分析・予測と勝つためのポイントを、中学受験の専門家である森上教育研究所の森上展安所長と中学受験専門家庭教師を派遣する麻布個人指導会の井口和道氏と谷地又俊明氏に聞きました。不安を払拭し、希望を胸に入試まで過ごしたいものです。

少々厳しくても受験したい!? 都内の受験者数が増加傾向に

森上　例年、公開模試の受験者数は6、7月と11月がほぼ同じで、そこから5,000人をマイナスした人数が2月1日の受験者数と見られています。従って、このまま推移すれば来年の中学入試は今年より2000名程度増加し、近年では最も多い受験者数になる可能性が強まっています。

谷地又　この状況下では少し意外な感じもします。

森上　実情としては偏差値が30～40の成績層、少々苦戦している受験生が大幅に増加しているようです。大手塾の分析によると、埼玉県は昨年並みで都内が増加しています。特に下町地区と三多摩地区で増加が見られます。

井口　この都内の増加はコロナの影響もあるのでしょうか。

森上　都内の方が感染のリスクが高いので、私立志向が高まっています。また、私立高校生に支給される就学支援金の年収制限が都内は一千万円強に設定されているため、受給資格を満たす家庭が多く、経済的に私立中学校進学のハードルが低くなっているのでしょう。

谷地又　様々な面で体制が整っているこの状況下では少し意外な感じもします。

森上　実情としては偏差値が30～40の成績層、少々苦戦している受験生が大幅に増加しているようです。大手塾の分析によると、埼玉県は昨年並みで都内が増加しています。特に下町地区と三多摩地区で増加が見られます。

井口　この都内の増加はコロナの影響もあるのでしょうか。

森上　都内の方が感染のリスクが高いので、私立志向が高まっています。また、私立高校生に支給される就学支援金の年収制限が都内は一千万円強に設定されているため、受給資格を満たす家庭が多く、経済的に私立中学校進学のハードルが低くなっているのでしょう。

谷地又　様々な面で体制が整っている私立中に行くため、慌てて中学受験を考えた家庭も増えていると考えられます。

井口　さらに元々受験を考えていた家庭でも塾のオンライン授業は向き不向きあるので、思うように学力がついていない受験生もまだたくさんいるのでしょう。

●女子の共学校人気が続き、来年度も狭き門の可能性大

森上　昨年同時期との比較では男子校の受験者数は大体同じ、女子校では受験者数の伸びが目立つ中学校がいくつか見受けられます。

井口　共学校は相変わらず狭き門となりそうです。

森上　共学校は今春も激戦でした。どこも倍率が高く、全体の合格率が30％ちょっとしかありませんでした。

谷地又　特に女子にとっては難関で、女子校の受験へと舵を切るかも知れません。

森上　そうですね。敬遠する受験生の影響で、今までは競争倍率が2倍ちょっとと受けやすかった女子校でも2倍後半まで激化する可能性があります。

●大学の指定校推薦枠の増、校舎の新築などで人気上昇

森上　大学の指定校推薦枠の新設、校舎の新築や建て替えをきっかけに人気に火が着くことがあります。最近のニュースでは、両親の世代でブランド力があり人気の東京女子大学と、桐朋女子が指定校推薦枠新設を発表しました。こうした高大提携の動きは今後広がるように思います。相手先にキリスト教系の女子校が指定されれば、大きな追い風となるでしょう。その他、立教女学院中が香蘭女学校中と同様に立教大学への推薦枠を拡大する見込みがあり、今後このような動きが他にも出てきそうです。

井口　敏感に情報をキャッチしていく必要がありますね。

森上　立教女学院中は校舎の全面建て替えもプラスに働いています。また、開成中も全面建て替えを実施します。加えて海城中の理科棟の建設、青山学院中等部の一部建て替えが行われています。これらの中学校の人気急上昇は間違いありません。

井口　真新しいきれいな校舎、案外こういったシンプルなことが志望校選択の決め手になるものです。

森上　大学へ飛び級入学をしても、高校の単位が認められるようになることにも注目しています。付属校や高大連携の大きなアピールポイントとなり、そこから新たな人気校が生まれるでしょう。

谷地又　今までは飛び級自体は認められていても、高校の単位としては反映されていなかったため抵抗感を持つ家庭もありましたが、これですっきりします。

果敢に挑戦するのも醍醐味、万全な対策で合格を手にする

森上　今後、受験生の追い込みの勉強のポイントは何でしょうか。

井口　上位校に関しては例年通りしっかりと志望校の傾向をつかみ、過去問対策を行います。中堅校を目指している受験生は基礎力の強化と弱点を補強するための勉強が大事です。

森上　なるほど。麻布個人指導会へ依頼する家庭には、何か志望校に特徴がありますか。

谷地又　男子は武蔵中、海城中、浅野中、サレジオ学院中を目標とする受験生が例年より多いです。いずれも国公立大学への進学実績が堅調な中学校です。女子は女子学院中、雙葉中などの難関女子校を目標とする受験生が昨年よりも増加しています。

森上　確かに今年の女子は割と難関・上位校に照準を定めている印象です。

谷地又　昨年まで男子はチャレンジ思考、女子は手堅い受験という印象でした。しかし、おっしゃるように今年は女子の意欲の高さを感じます。

井口　家庭ごとの意識に若干差はあり、果敢に上位校にチャレンジしようという家庭と、学力に不安があるため必要以上に手堅い受験校選びをする家庭とに分かれているという特徴もあります。

森上　憧れの中学校に思い切って挑戦するのも中学受験の醍醐味です。家庭教師の力も借りて、最後まで闘い抜いてほしいです。

●大学の指定校推薦枠の増、校舎の新築などで人気上昇

森上　大学の指定校推薦枠の新設、校舎の新築や建て替えをきっかけに人気に火が着くことがあります。最近のニュースでは、両親の世代でブランド力があり人気の東京女子大学と、桐朋女子が指定校推薦枠新設を発表しました。こうした高大提携の動きは今後広がるように思います。相手先にキリスト教系の女子校が指定されれば、大きな追い風となるでしょう。その他、立教女学院中が香蘭女学校中と同様に立教大学への推薦枠を拡大する見込みがあり、今後このような動きが他にも出てきそうです。

井口　敏感に情報をキャッチしていく必要がありますね。

森上　立教女学院中は校舎の全面建て替えもプラスに働いています。また、開成中も全面建て替えを実施します。加えて海城中の理科棟の建設、青山学院中等部の一部建て替えが行われています。これらの中学校の人気急上昇は間違いありません。

井口　真新しいきれいな校舎、案外こういったシンプルなことが志望校選択の決め手になるものです。

森上　大学へ飛び級入学をしても、高校の単位が認められるようになることにも注目しています。付属校や高大連携の大きなアピールポイントとなり、そこから新たな人気校が生まれるでしょう。

谷地又　今までは飛び級自体は認められていても、高校の単位としては反映されていなかったため抵抗感を持つ家庭もありましたが、これですっきりします。

逆転合格が起こりえる入試、今こそプロ家庭教師の活用を

森上　2022年度入試はコロナ禍で2度目の入試となりますが、昨年同時期と違いはありますか。

谷地又　良くも悪くも慣れたことで、昨年の受験生よりも落ち着いていると感じます。ただし、学力的な完成度はまだまだこれからといった印象です。

森上　大手塾のオンライン授業に馴染めないという声も耳にしますので、影響はあるのでしょうね。俄然、家庭教師による一対一の志望校対策の価値が高いです。

●これから求められるのは全て受験校に直射する勉強

井口　例年と同じく、合否を分けるのは本当にこれからの取り組みです。キャリアの中で、困難な状況から巻き返して劇的な合格を手にした受験生を何人も見ています。

谷地又　対面授業とオンライン授業を組み合わせることもできます。例えば対面授業で週1回2時間伺い、補足的に短時間オンライン授業を受けるなどです。家庭の要望やイメージにできるだけ近くなるようにしています。

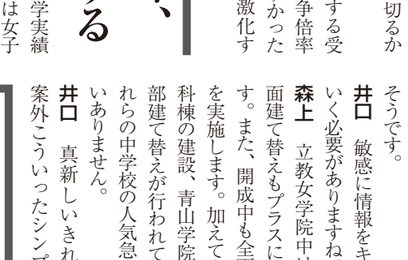
森上　都合に合わせてくれるのは助かりますね。それに何と言っても志望校に特化した個別戦略や弱点克服などがプロ家庭教師の真骨頂です。

井口　塾では女子が男子校の過去問を解く、あるいは絶対に受験しない中学校や傾向の異なる中学校の問題を解くなど、多少不合理な勉強は避けられません。しかし、家庭教師であれば、全ての勉強が受験する中学校に直射するように進めることができます。

谷地又　ここから先、勉強時間の量ではほとんど差がつきません。残された時間は平等ですから、いかに中身を充実させられるかで勝負が決します。

森上　最後まで1問でも5点でも、入試本番の得点が伸びるようなやり方をしたいものです。絶対に解けなくてはいけない問題と逆にできなくても影響の少ない問題の見極めなど、志望校ごとに最善の判断と対策をこなすのは、専門家の力添えなくしてはできません。

井口　ベテラン講師は精神面の支えとしてもお役に立ちます。家庭の悩みや受験生のストレスを受け止めるのはもちろん、親子間の意見が食い違う場面で緩衝材になるなど、明るい雰囲気で受験日を迎えられるように最後まで支えます。ぜひ一緒に合格を掴みましょう。



（中央）教務 井口 和道　（右）教務 谷地又 俊明

森上 展安 氏

（株）森上教育研究所　代表取締役

中学受験・中等教育に関する新聞、雑誌等へのコメント多数。毎週中学受験生の保護者対象に「わが子が伸びる親の『技』研究会」（oya-skill.com）を主宰。近刊、共著に『中学受験 はじめての学校ガイド2015』。

少々厳しくても受験したい!? 都内の受験者数が増加傾向に

森上　例年、公開模試の受験者数は6、7月と11月がほぼ同じで、そこから5,000人をマイナスした人数が2月1日の受験者数と見られています。従って、このまま推移すれば来年の中学入試は今年より2000名程度増加し、近年では最も多い受験者数になる可能性が強まっています。

谷地又　この状況下では少し意外な感じもします。

森上　実情としては偏差値が30～40の成績層、少々苦戦している受験生が大幅に増加しているようです。大手塾の分析によると、埼玉県は昨年並みで都内が増加しています。特に下町地区と三多摩地区で増加が見られます。

井口　この都内の増加はコロナの影響もあるのでしょうか。

森上　都内の方が感染のリスクが高いので、私立志向が高まっています。また、私立高校生に支給される就学支援金の年収制限が都内は一千万円強に設定されているため、受給資格を満たす家庭が多く、経済的に私立中学校進学のハードルが低くなっているのでしょう。

谷地又　様々な面で体制が整っている私立中に行くため、慌てて中学受験を考えた家庭も増えていると考えられます。

井口　さらに元々受験を考えていた家庭でも塾のオンライン授業は向き不向きあるので、思うように学力がついていない受験生もまだたくさんいるのでしょう。

●女子の共学校人気が続き、来年度も狭き門の可能性大

森上　昨年同時期との比較では男子校の受験者数は大体同じ、女子校では受験者数の伸びが目立つ中学校がいくつか見受けられます。

井口　共学校は相変わらず狭き門となりそうです。

森上　共学校は今春も激戦でした。どこも倍率が高く、全体の合格率が30％ちょっとしかありませんでした。

谷地又　特に女子にとっては難関で、女子校の受験へと舵を切るかも知れません。

森上　そうですね。敬遠する受験生の影響で、今までは競争倍率が2倍ちょっとと受けやすかった女子校でも2倍後半まで激化する可能性があります。

●大学の指定校推薦枠の増、校舎の新築などで人気上昇

森上　大学の指定校推薦枠の新設、校舎の新築や建て替えをきっかけに人気に火が着くことがあります。最近のニュースでは、両親の世代でブランド力があり人気の東京女子大学と、桐朋女子が指定校推薦枠新設を発表しました。こうした高大提携の動きは今後広がるように思います。相手先にキリスト教系の女子校が指定されれば、大きな追い風となるでしょう。その他、立教女学院中が香蘭女学校中と同様に立教大学への推薦枠を拡大する見込みがあり、今後このような動きが他にも出てきそうです。

井口　敏感に情報をキャッチしていく必要がありますね。

森上　立教女学院中は校舎の全面建て替えもプラスに働いています。また、開成中も全面建て替えを実施します。加えて海城中の理科棟の建設、青山学院中等部の一部建て替えが行われています。これらの中学校の人気急上昇は間違いありません。

井口　真新しいきれいな校舎、案外こういったシンプルなことが志望校選択の決め手になるものです。

森上　大学へ飛び級入学をしても、高校の単位が認められるようになることにも注目しています。付属校や高大連携の大きなアピールポイントとなり、そこから新たな人気校が生まれるでしょう。

谷地又　今までは飛び級自体は認められていても、高校の単位としては反映されていなかったため抵抗感を持つ家庭もありましたが、これですっきりします。

果敢に挑戦するのも醍醐味、万全な対策で合格を手にする

森上　今後、受験生の追い込みの勉強のポイントは何でしょうか。

井口　上位校に関しては例年通りしっかりと志望校の傾向をつかみ、過去問対策を行います。中堅校を目指している受験生は基礎力の強化と弱点を補強するための勉強が大事です。

森上　なるほど。麻布個人指導会へ依頼する家庭には、何か志望校に特徴がありますか。

谷地又　男子は武蔵中、海城中、浅野中、サレジオ学院中を目標とする受験生が例年より多いです。いずれも国公立大学への進学実績が堅調な中学校です。女子は女子学院中、雙葉中などの難関女子校を目標とする受験生が昨年よりも増加しています。

森上　確かに今年の女子は割と難関・上位校に照準を定めている印象です。

谷地又　昨年まで男子はチャレンジ思考、女子は手堅い受験という印象でした。しかし、おっしゃるように今年は女子の意欲の高さを感じます。

井口　家庭ごとの意識に若干差はあり、果敢に上位校にチャレンジしようという家庭と、学力に不安があるため必要以上に手堅い受験校選びをする家庭とに分かれているという特徴もあります。

森上　憧れの中学校に思い切って挑戦するのも中学受験の醍醐味です。家庭教師の力も借りて、最後まで闘い抜いてほしいです。

●大学の指定校推薦枠の増、校舎の新築などで人気上昇

森上　大学の指定校推薦枠の新設、校舎の新築や建て替えをきっかけに人気に火が着くことがあります。最近のニュースでは、両親の世代でブランド力があり人気の東京女子大学と、桐朋女子が指定校推薦枠新設を発表しました。こうした高大提携の動きは今後広がるように思います。相手先にキリスト教系の女子校が指定されれば、大きな追い風となるでしょう。その他、立教女学院中が香蘭女学校中と同様に立教大学への推薦枠を拡大する見込みがあり、今後このような動きが他にも出てきそうです。

井口　敏感に情報をキャッチしていく必要がありますね。

森上　立教女学院中は校舎の全面建て替えもプラスに働いています。また、開成中も全面建て替えを実施します。加えて海城中の理科棟の建設、青山学院中等部の一部建て替えが行われています。これらの中学校の人気急上昇は間違いありません。

井口　真新しいきれいな校舎、案外こういったシンプルなことが志望校選択の決め手になるものです。

森上　大学へ飛び級入学をしても、高校の単位が認められるようになることにも注目しています。付属校や高大連携の大きなアピールポイントとなり、そこから新たな人気校が生まれるでしょう。

谷地又　今までは飛び級自体は認められていても、高校の単位としては反映されていなかったため抵抗感を持つ家庭もありましたが、これですっきりします。

逆転合格が起こりえる入試、今こそプロ家庭教師の活用を

森上　2022年度入試はコロナ禍で2度目の入試となりますが、昨年同時期と違いはありますか。

谷地又　良くも悪くも慣れたことで、昨年の受験生よりも落ち着いていると感じます。ただし、学力的な完成度はまだまだこれからといった印象です。

森上　大手塾のオンライン授業に馴染めないという声も耳にしますので、影響はあるのでしょうね。俄然、家庭教師による一対一の志望校対策の価値が高いです。

●これから求められるのは全て受験校に直射する勉強

井口　例年と同じく、合否を分けるのは本当にこれからの取り組みです。キャリアの中で、困難な状況から巻き返して劇的な合格を手にした受験生を何人も見ています。

谷地又　対面授業とオンライン授業を組み合わせることもできます。例えば対面授業で週1回2時間伺い、補足的に短時間オンライン授業を受けるなどです。家庭の要望やイメージにできるだけ近くなるようにしています。

森上　都合に合わせてくれるのは助かりますね。それに何と言っても志望校に特化した個別戦略や弱点克服などがプロ家庭教師の真骨頂です。

井口　塾では女子が男子校の過去問を解く、あるいは絶対に受験しない中学校や傾向の異なる中学校の問題を解くなど、多少不合理な勉強は避けられません。しかし、家庭教師であれば、全ての勉強が受験する中学校に直射するように進めることができます。

谷地又　ここから先、勉強時間の量ではほとんど差がつきません。残された時間は平等ですから、いかに中身を充実させられるかで勝負が決します。

森上　最後まで1問でも5点でも、入試本番の得点が伸びるようなやり方をしたいものです。絶対に解けなくてはいけない問題と逆にできなくても影響の少ない問題の見極めなど、志望校ごとに最善の判断と対策をこなすのは、専門家の力添えなくしてはできません。

井口　ベテラン講師は精神面の支えとしてもお役に立ちます。家庭の悩みや受験生のストレスを受け止めるのはもちろん、親子間の意見が食い違う場面で緩衝材になるなど、明るい雰囲気で受験日を迎えられるように最後まで支えます。ぜひ一緒に合格を掴みましょう。

（中央）教務 井口 和道　（右）教務 谷地又 俊明

良い講師との出会いがお子さんを変えます！

森上　志望校へ送り出した受験生で印象的だったエピソードを教えて下さい。

谷地又　海城中に合格したお子さんで、6年生の夏休みに算数を教えてほしいという依頼でした。家庭は当初、夏休みのみを想定していましたが、結局指導は入試まで継続しました。

森上　その講師に、ぜひ最後まで習いたいと思わせる魅力があったのですね。

谷地又　最初の面談で、母親はお子さんが周囲の人とのコミュニケーションが苦手だと非常に心配していました。そして、オンライン授業の方が向いているのではと悩んでいました。そこで体験授業は対面で行い、その様子を見てもらった上でその後はどちらが良いかを判断してもらう提案をしました。

森上　なるほど。柔軟に対応してもらい、母親も安心できたでしょう。

谷地又　体験授業後、講師から「口数は少ないながらも自分の言葉で適切な受け答えができるお子さんでした」。そう報告がありました。母親に伝えると大変喜んでいただき、指導はそのまま対面で行われました。

井口　その講師は懐の深さとトークの巧みさが持ち味です。経験豊富なベテランからすると、お子さんはむしろ指導しやすかったと感じられたのでしょう。

森上　過度な心配がお子さんに伝わってしまうと「自分はそうなんだ」と思ってしまうことがあります。ベテラン講師の見事な対応にお子さんはきっと自信を持てたでしょう。

井口　お子さんの個性や家庭の事情は千差万別です。教科指導が優れていることのみならず、多角的に見て最も適切な講師を指導しているA講師に妹も習わせたいとのことでした。

森上　講師冥利に尽きるのではないでしょうか。信頼は絶大だったのでしょう。

谷地又　そうですね。しかし、A講師はすでにスケジュールがタイトで、且つ指導はどうしても受験生の姉が中心とならざるを得ません。そこで姉の中学受験終了までは別のB講師の指導を受け、新年度からA講師に習うということになりました。ところが、いざ習い始めてみると妹はB講師と相性が抜群で、指導は円滑に進み成績も上昇しました。結局、新年度を迎えても講師は代わらずに6年生の最後まで指導しました。

森上　素敵なエピソードです。どちらの講師も甲乙つけがたい優れた指導者なのでしょうが、妹は「自分の先生」という認識を持てて喜んだのでしょう。

井口　兄弟姉妹で習う場合「比べられるのでは」という懸念から、同じ講師に習うことに抵抗を感じるお子さんも少なからずいます。

森上　お子さんごとに相応しい講師を選ぶ、まさに教務スタッフの方の腕の見せ所ですね。

井口　当会にはどんな要望にも対応できる熟練の講師が揃っています。どのような状況でも、お子さんに寄り添って一緒に考えて励まします。教務スタッフも講師と連携し、家庭と併走しながら客観的な視点からアドバイスさせていただきます。

教務の現場から⑥

●オリンピック・パラリンピックを終えて……

コロナ禍の中の開催となった東京オリンピック・パラリンピックが閉幕しました。数々のドラマに、テレビに釘付けになった方も多かったと思います。

かつてオリンピック・パラリンピックは「参加することに意義がある」と言われていた時代もありましたが、今やほとんどの選手が「目標は金メダル」と口にしています。結果として今大会多くのメダリストが生まれました。

夏も終わり、多くの受験生はいよいよ受験に向けてラストスパートにかかります。挑戦することはお子さんにとって非常に意義深いものだと思います。加えて、ここまで積み上げてきた努力を形（志望校合格）として残すこともそれ以上に価値のあることです。受験でお子さんが「金メダル」を取るために精一杯お手伝いをさせていただきます。　教務：奥野

学生は一切派遣していません

創立35年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

258校にのべ712名の受験生が合格いたしました

2021年度　中学合格実績　（五十音順）

男子　＝130校のべ376名の輝くゴール＝

青山学院	1名	逗子開成	4名	女子学院	3名	女子学院	3名
浅野	8名	成蹊	3名	青山横浜英和	2名	白百合学園	2名
麻布	3名	聖光学院	7名	跡見学園	7名	成蹊	3名
市川	8名	成城	5名	市川	7名	成城学園	3名
栄光学園	2名	成城学園	3名	浦和明の星	7名	洗足学園	4名
江戸川取手	3名	世田谷学園	4名	桜蔭	2名	専修大松戸	5名
海城	8名	専修大松戸	4名	鷗友学園	2名	中央大附属	2名
開成	4名	高輪	6名	大妻	5名	中央大附属横浜	2名
開智	4名	中央大附属	2名	大妻中野	3名	東京女学館	4名
学習院	7名	筑波大駒場	1名	学習院女子	5名	東邦大東邦	6名
鎌倉学園	2名	東京都市大付属	9名	鎌倉女学院	2名	東洋英和	5名
暁星	3名	桐朋	5名	吉祥女子	4名	豊島岡女子	7名
慶応湘南藤沢	1名	東邦大東邦	6名	共立女子	8名	日本女子大附属	3名
慶応中等部	1名	獨協	5名	慶応湘南藤沢	2名	広尾学園	3名
慶応普通部	2名	日大二	3名	慶応中等部	1名	フェリス女学院	3名
攻玉社	5名	広尾学園	3名	恵泉女学園	6名	雙葉	3名
国学院久我山	5名	法政大学	5名	光塩女子学院	2名	普連土学園	2名
駒場東邦	5名	法政第二	3名	晃華学園	2名	法政大学	3名
栄東	19名	本郷	9名	香蘭女学校	5名	三田国際	2名
サレジオ学院	3名	武蔵	3名	国学院久我山	2名	三輪田学園	5名
芝	7名	明大中野	6名	栄東	15名	明大明治	2名
芝浦工大柏	4名	明大明治	2名	実践女子学園	5名	山脇学園	6名
芝浦工大附属渋	3名	立教池袋	5名	品川女子学院	5名	横浜共立	2名
谷教育渋谷	4名	立教新座	6名	渋谷教育渋谷	2名	横浜雙葉	2名
渋谷教育幕張	4名	早稲田	5名	渋谷教育幕張	3名	立教女学院	4名
城北	5名	早稲田高等学院	4名	淑徳与野	7名	早稲田実業	1名
巣鴨	9名	公立一貫校	2名	頌栄女子学院	4名	公立一貫校	2名
		他多数合格				他多数合格	

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。
※ホームページには他の合格校も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

のべ6,000名以上の受験生を志望校へと送り出しています

入会の制約のない体験授業

講師へのご要望は事前に教務スタッフがお聞きいたします。このご相談はオンラインでも承っております。

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業前の申込書へのご記入などはありません。

■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。

■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。

■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。

■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。

■万一の場合には別の講師を人選し、再度体験授業を受けられます。

指導料は完全な後払い

●入会金 22,000円（税込）　一家庭無期限有効

●月額指導料 52,800円～79,200円（税込）
［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］

※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。
※人選は指導料についてのご要望を加味した上でいたします。

○入会金は体験授業でご納得いただいた後でご請求いたします。

○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。

○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。

○指導開始後も、多くの学校に受験生を送り込んできた教務スタッフが受験校のご相談など、さまざまなサポートをさせていただきます。

首都圏にお住まいでなくても受講できます！ご相談下さい

○当会には地方の方からのご依頼もあります。指導させていただくのは全員が中学受験の専門家、首都圏で指導中の講師が担当します。

○オンライン指導に対応できる講師が増え、これまでよりも格段にお子さんの現状と家庭のイメージに合った人選が可能となりました。

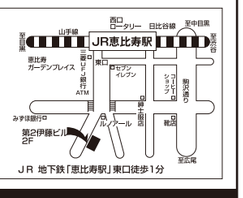
○お住まいの場所や状況を問わず、まずはお気軽にご相談下さい。プロが学生とは違う、合格のための手応えのある〝一手〟となります。

〈近年の主な合格校（首都圏外）〉

ラ・サール(鹿児島県)，函館ラ・サール(北海道)，北嶺(北海道)，洛南(京都府)，西大和学園(奈良県)，早稲田佐賀(佐賀県)，愛光学園(愛媛県)他
※首都圏の中学校を受験して合格した例も多数あります。

中学受験専門の講師による1対1個人指導教室を併設

家庭と教室とで指導する講師に違いはありません。全員が中学受験専門の講師です。教室は広い空間を確保し、圧迫感のない対面形式の授業を実現しています。また、授業の前後には自習室としての利用も可能です。



JR 地下鉄「恵比寿駅」東口徒歩1分

●中学受験専門家庭教師派遣

麻布個人指導会

●固定電話から　0120-14-3004

●携帯電話から　03-3440-1940

《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。

●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F